

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)11月2日
所属名：東近江農産普及課東部
番号：D23013
部門分類：150(野菜)
発信者名：伊吹、猪田、軸屋

省力化を目指したタマネギ直は実演会を開催！

10月13日に東近江市林田町の農事組合法人「飯開の里はやしだ」の圃場にて、タマネギの直は栽培の実演会を開催したところ、集落営農組織をはじめとした生産者や関係機関約30名が参加されました。

東近江地域では、令和7年度から大規模国営ほ場整備事業が実施される計画があり、その中でタマネギを高収益作物と位置づけ推進を図っているところです。

タマネギ栽培は、機械化が進んでいることから露地野菜の中でも比較的取り組みやすい品目であるものの、育苗や移植に手間やコストがかかることからさらなる規模拡大や土地利用型経営への新規導入を妨げる一因となっています。

昨年、農業技術振興センターが現地圃場において育苗の省力化を目的とした直は栽培に取り組んだところ、本県の目標収量である5t/10aを超えたことから、当技術を広く生産者に知ってもらうため実証圃を設けて実演会を実施しました。

当日は、(株)ヤンマーの協力のもと、施肥・うね立て同時播種の体系で播種を行い、機械や圃場の見学を実施しました。10月に入ってから大雨が降り、圃場は好条件とは言えない状態ではありましたが、実証内容である機械による直は作業ともみがら散布について無事作業を終えることができました。

今後、直は栽培の問題点とされている、苗立ち率と春先からの除草体系について状況を確認するとともに、関係機関と連携しながらタマネギの直は栽培の技術確立に向けた検証を行います。



写真1 取り組み内容の説明



写真2 実演機による直は作業の様子